

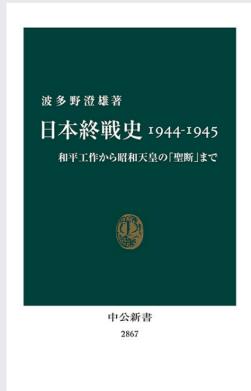


KD0970  
2025年10月

販売対象：  
大学のみ



# 中央公論新社



## 中公新書100点 サブスクリプションパッケージ

2026年4月  
配信開始

中公新書がついにKinoDenで配信開始！  
年間購読（サブスクリプション）モデルでご提供いたします。

- \* 100点セット（タイトル固定）のパッケージです。
- \* 単品販売はございません。
- \* 同時アクセス数は「1」のみです。
- \* 年度途中でもお申込みいただけます（月割り可）。
- \* 終了日は2027年3月31日で固定です。

2026年4月開始分は2026年3月20日まで  
弊社営業担当にお申し込みください。

セット  
価格

■4月-3月（12か月） 同時アクセス1 ¥165,000（本体価）

■月割りの場合 ⇒ 基本料金¥33,000 + ¥11,000×利用月数  
例) 6月-3月の場合 ⇒ ¥143,000（本体価）

\* 前月20日までに弊社営業担当にお申し込みください。

## ❶ 中公新書とは

中公新書は1962年11月から刊行を始めました。以降、いまにいたるまで、読者や著者の皆さまのご支持をいただき、2400点以上の書目を出版してきました。下記に掲載する「中公新書刊行のことば」にありますように、「真に知るに価いする知識」の提供を目標とし、これからも刊行を続けてまいります。

### 中公新書刊行のことば

いまからちょうど五世紀まえ、グーテンベルクが近代印刷術を発明したとき、書物の大量生産は潜在的可能性を獲得し、いまからちょうど一世紀まえ、世界のおもな文明国で義務教育制度が採用されたとき、書物の大量需要の潜在性が形成された。この二つの潜在性がはげしく現実化したのが現代である。

いまや、書物によって視野を拡大し、変りゆく世界に豊かに対応しようとする強い要求を私たちは抑えることができない。この要求にこたえる義務を、今日の書物は背負っている。だが、その義務は、たんに専門的知識の通俗化をはかることによって果たされるものでもなく、通俗的好奇心にうったえて、いたずらに発行部数の巨大さを誇ることによって果たされるものでもない。現代を真摯に生きようとする読者に、真に知るに価いする知識だけを選びだして提供すること、これが中公新書の最大の目標である。

私たちは、知識として錯覚しているものによってしばしば動かされ、裏切られる。私たちは、作為によってあたえられた知識のうえに生きることがあまりに多く、ゆるぎない事実を通して思索することがあまりにすくない。中公新書が、その一貫した特色として自らに課すものは、この事実のみの持つ無条件の説得力を發揮させることである。現代にあらたな意味を投げかけるべく待機している過去の歴史的事実もまた、中公新書によって数多く発掘されるであろう。

中公新書は、現代を自らの眼で見つめようとする、逞しい知的な読者の活力となることを欲している。

一九六二年一一月

\* web中公新書より <https://www.chuko.co.jp/shinsho/portal/about.html>



タイトルリストは  
こちら↓

